

広報  かるまい

Karumai 4

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

Apr. 2026
vol. 805

仲間とともに歩んだ3年間に感謝

【表紙】

軽米中学校
卒業式

令和8年度

町の 施政方針

2月25日から開かれた町議会定例会で、山本賢一町長が令和8年度の施政方針を述べ、本年度にける決意を表明しました。施政方針の要旨をお伝えします。



令和8年度は、軽米町総合発展計画・後期基本計画をはじめ、第3期軽米町人口ビジョン・総合戦略、軽米町過疎地域持続的発展計画など各種計画のスタートの年です。策定にあたっては高校生、若者、各分野の団体、審議会委員から携わっていただきました。これらの計画を基本に施策を進めていきます。

豊かな自然と美しい 景観のまちづくり

町民総参加のクリーンアップデー、花いっぱいコンクールを通じて地域団体や学校、企業と一体となって、花のあふれる町づくりを推進します。

山内地区の「折爪岳風力発電所」が令和7年12月に稼働しました。小軽米地区の（仮称）小軽米風力発電事業は、環境保全の調査等の検討段階に入り、今後は県協議を経て事業着手する予定です。久慈市、九戸村にまたがる円子地区の（仮称）岩手久慈風力発電事業は、環境影響評価準備書に向け県との協議を進めています。地域の理解と自

然との調和が図られ、安全安心な発電事業になるよう進めていきます。

地球温暖化対策と脱炭素社会の実現に向け、電気自動車の購入、家庭用太陽光発電設備設置へ助成する「ゼロカーボン推進事業費補助金」に加え、省エネルギー製品への買い替えを支援する「省エネ家電買替促進事業費補助金」を新たに創設します。

一人一人がいいき 暮らすまちづくり

かるまい文化交流センターを生涯学習の拠点施設に、誰でも利用しやすい運営と学習情報の発信や各種講座の充実を図り、交流の場としてイベントの開催や団体活動の支援に努めます。

各スポーツ競技団体とともに、町民ニーズに応じたスポーツプログラムの推進と、健康維持と日常的にスポーツ活動ができる環境整備に向け各施設の計画的な修繕と機能維持を図ります。

特定健診やがん検診受診の働きかけにより、病気の早期発見・

入学者の確保と魅力ある学校づくりを支援します。

資源を活かした 地域産業のまちづくり

30品目を認定する「かるまいブランド」は、町の知名度をさらに高め、現代ニーズを捉えた新商品開発に努めます。

農業従事者の減少と遊休農地の増加により、農業は極めて厳しい状況にあります。国や県事業に町独自の支援事業を効果的に組み合わせ、次世代を担う人材の確保と育成に努めます。

地域計画に基づき、意欲ある担い手への農地集積・集約化を加速させます。

町の実情に合った特定地域づくり事業協同組合を調査・検討し、地域おこし協力隊の活用や移住・定住施策と連携して取り組めます。

園芸、工芸作物及び雑穀等は、産地力の強化と環境負荷低減を図るため、生分解性資材普及拡大事業による農業用の廃プラスチックの排出抑制と農作業の省力化を支援します。高値と

早期治療につなげ、特にも高血圧対策に重点を置いた生活習慣の改善に取り組みます。こころの健康では、9年度からの本格実施に向け、ひきこもり支援と相談体制の構築を図ります。

高齢者保健事業では、介護予防と一体的に取り組み、低栄養、口腔機能向上等、心身の活力を保つフレイル（加齢による心身活力の低下）予防を進めます。

第3期軽米町データヘルス実施計画に基づき、国民健康保険事業の効果的で効率的な保険事

業と医療費の適正化、保険財政の安定的な運営に取り組みむほか、後期高齢者医療事業の保険料の確実な収納と各種検診の受診率向上を図ります。

認知症への正しい知識の普及啓発と、本人や家族への支援に努め、地域包括ケアシステムの柱として住民の支え合い活動の協議体への支援を行います。

町障害者福祉計画に基づき、自立支援給付や地域生活支援事業を通じ、障がいのある方が自ららしく自立した生活を送れるよう支援します。

子育て環境日本一を 目指すまちづくり

妊娠期から出産・育児までを一貫してサポートする「こども家庭センター」の設置を目指します。保健師や助産師など専門職による細やかな支援と、妊娠時と出産後の面談時に合計10万円を給付するほか、引き続き1歳未満の乳児世帯へのオムツ代助成により経済的不安の解消を図ります。

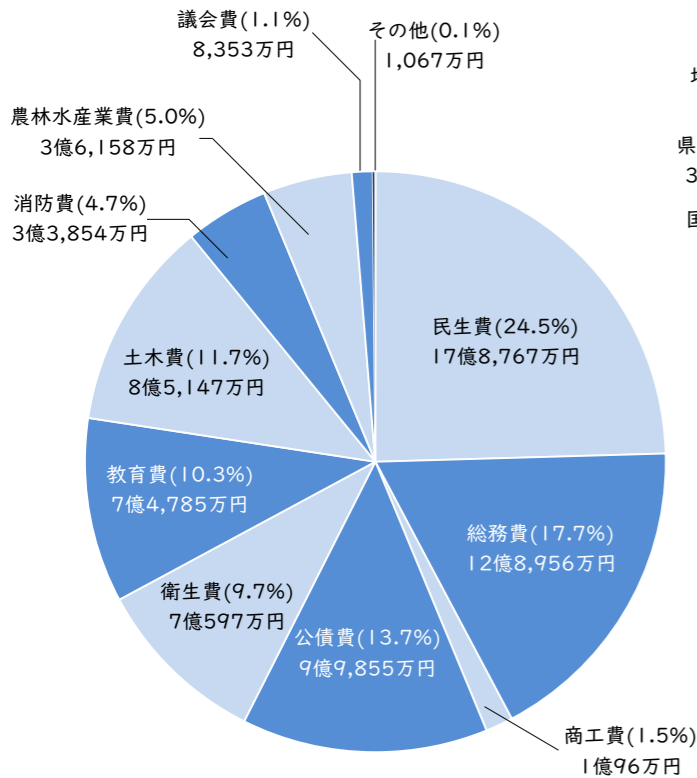
保育料の完全無償化を継続



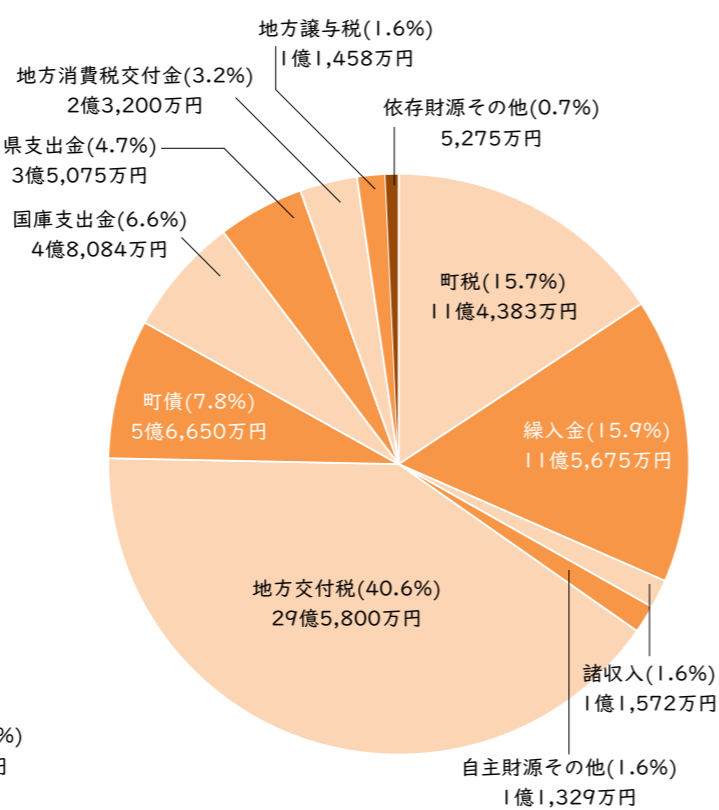
食フェスタでにぎわう宇米館

一般会計当初予算は前年度比 3.0%増

一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和8年度一般会計当初予算

72億8,500万円

8年度の町づくりにかかる予算は、前年度から2億1,500万円の増額となりました。予算の概要についてお知らせします。

■会計別当初予算額

会計名	当初予算額	対前年度
一般会計	72億8,500万円	3.0%
特別会計		
国民健康保険特別会計	10億5,824万円	3.2%
後期高齢者医療	1億5,089万円	15.1%
総額	84億9,413万円	-

令和8年度一般会計予算は、人件費等の義務的経費が増となったほか、新規事業として「若者定住住宅整備事業」「防災無線操作卓更新事業」などの増により、前年度比3.0%、2億1,500万円増の72億8,500万円として計上しました。

歳入は、償却資産に係る課税標準額の減額により固定資産税の3,200万円余りの減額が見込まれますが、町税の確保や適正な受益者負担をお願いしつつ、ふるさと納税などの自主財源の確保に努めます。歳出は事務事業の見直しをはじめ、地域活性化や福祉の向上、教育環境の充実等、優先的事業への重点配分に努め予算編成しました。8億2,240万円近くの財源不足は、財政調整基金により調整しました。

今後も財政運営は、厳しい状況にありますが、将来的負担の軽減を図るため、創意工夫により一層効率的な予算執行に努めます。



若者向け住宅造成工事が完了し、9年度の入居に向け整備が進められます

なっている主食用米は飼料用米からの転換も見込まれますが、県の生産目安を参考に、需要に見合った計画的な生産支援と転作とのバランスを図りながら、農家の所得向上を後押しします。

近年増加するニホンジカ等による被害対策は、鳥獣被害対策実施隊の献身的な活動に加え、次世代狩猟者の確保と狩猟免許の取得支援など捕獲体制の充実を図り、電気柵等の設置費用にも助成します。

ツキノワグマ対策には、緊急銃猟制度が迅速、安全に機能するように、対応マニュアルに沿って関係機関と連携し、大型ドラム式箱罠も新たに整備します。

畜産振興では、牛肉価格の低迷に対し、引き続き肥育素牛の地域内保留に係る経費の一部を支援し肉用牛肥育農家の経営基盤を強化します。

森林の適切な管理に向け、国・県事業と町の補助事業を合わせ造林や除伐、保育間伐などの民有林整備に取り組みます。

多様な交流が生まれる 魅力あるまちづくり

かまの文化交流センターで皆様を楽しめるイベントの開催に向け、町民や民間事業者が「主役」となり自由な発想で多目的ホールやその他の施設を活用できる仕組みを進め、町の賑わい創出と多様な世代交流を推進します。多様化するニーズを的確に捉え「森と水とチューリップフェスティバル」などの主要イベントをさらに磨き上げ、交流人口の拡大に努めます。

折爪岳や幻想的なヒメボタルを活用し、二戸広域や北いわてエリアでの広域観光の魅力を高めるとともに、SNSやデジタル広告なども効果的に活用しあ

らゆる世代への情報発信を強化し、イメージアップと交流創出に取り組みます。

若者向け住宅2棟の整備に着手し、9年度の入居に向けて進めます。旧新町住宅跡地、旧軽米高校寄宿舎跡地等についても移住の検討を進めます。

移住コーディネーター4名を配置し、移住の相談、希望者へのきめ細やかな支援と、首都圏等での移住イベントへの参加、移住支援金、移住体験補助金を活用した移住・定住を推進します。地域おこし協力隊、地域活性化起業人制度やふるさと納税を活用した、交流人口、関係人口の拡大に努めます。

共に支え合う安心・安全なまちづくり

持続可能な交通体系の構築に向け、利用状況やアンケート調査等を踏まえ、町に合った公共交通計画の策定を進めます。

全国的に頻発・激甚化する災害に対し、地域防災計画を基本に消防関係機関と連携した防災・減災対策を推進します。消

防団運営交付金等の支援のほか小型動力ポンプと消防団員の安全靴の更新を進め、自主防災組織の結成と活動への支援と防災士の資格取得支援も継続します。

町道整備では、参勤街道線のほか継続6路線に加え、新たに法面防護対策1路線、生活道路2路線の整備を進めます。橋梁長寿命化修繕計画に基づき、広域農道長倉大橋ほか2橋の補修設計、1橋の補修工事により長寿命化を図ります。

町営住宅は、長寿命化計画に基づき適正な維持管理に努め、一般住宅の耐震診断や耐震改修助成、住宅リフォーム奨励を継続し、公共下水道の普及促進と水道施設の適正かつ効率的な上下水道事業の運営に努めます。

健全な財政運営と行政DXを進め町民の利便性向上に努めます。情報発信では、かまのテレビ、SNSなどの媒体を総合的に活用し、地域おこし協力隊や、ふるさと大使との取り組みを進めます。特にSNSの優位性を活用した効果的な情報発信を強化します。

令和8年度 教育 行政方針

町議会定例会で久保智克教育長が示した令和8年度教育行政方針の要旨をお伝えします。



令和8年度は、国や岩手県の動向を十分に踏まえ、町教育振興基本計画に基づき「共に未来を切り拓くための生きる力」と生涯学習の町づくりをさらに充実・発展させるため、「生涯学習」など4分野ごとに、具体的な取り組みを推進します。

県立軽米高等学校は8年度から1学級が減じられますが、入学者の確保と地域校として存続しより良い教育環境を創るため、町当局とも連携し引き続き高校の支援に取り組みます。

1 生涯学習の推進

一人ひとりが生きがいとやりがいをもてる機会の創出と、自主的・主体的な学習活動を支援します。

(1) 生涯学習推進体制の充実

町民・団体・関係機関・行政の連携のもと、生涯学習推進本部を中心に「協働参画による生涯学習のまちづくり」を推進します。各種活動やイベント等を町全体の学習情報として生涯学習カレンダーを作成し全戸配布するほか、広報紙やかるまいテ

レビ等も活用しきめ細かな提供に努めます。

かるまい文化交流センターは開館以来、快適かつ交流の場としてにぎわいが続いています。引き続きイベントの企画・運営、各団体の活動を支援し活性化を図ります。

(2) 家庭と地域の教育力向上の推進

家庭教育学級や各種講座の充実を図り、発達段階に応じた学習機会を提供するとともに、保健・医療・福祉等の関係団体と連携、協力し、相談体制の整備や交流の場を提供します。

(3) 青少年の健全育成

音更町相互訪問研修や子ども会リーダー研修会など体験的な活動を継続し、地域を見つめる機会や仲間づくりを通しリーダー性や社会性を育み教育振興運動の展開を通じて、地域、学校、行政の連携と協働、家庭学習や情報メディアとの上手な付き合い方、教育課題の解決に取り組むなど、地域全体で子ども達を育む環境づくりを推進します。

(4) 社会教育環境の整備・充実

コミュニティ活動の拠点となる自治公民館の支援、町立図書館の蔵書と機能の充実を図り、利用者サービスの向上に努めます。図書館ボランティアの協力のもと、親しみやすい図書館を目指します。

(5) 生涯にわたる学習活動の支援

町民講座や生涯学習フェスティバル、高齢者教室「寿大学」等により学習意欲の高揚と健康増進を支援します。

2 学校教育の充実

児童生徒が自分らしく生き生きと学び、夢を育み、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を総合的に兼ね備え、共によりよい社会を切り拓く「生きる力」を育てる取り組みを進めます。

(1) 確かな学力の育成

令和8年度は「軽米の子新ががやき夢プラン」を新たに策定し、児童生徒の学力の育成に取り組みます。プランの実践化にあたり、新たに「学びの軽米モデル」を構築し、指導方法の一層の改善と「自らの人生を舵取

りができ、民主的で持続可能な社会の創り手となる資質・能力」の育成を図ります。

(2) 生徒指導の充実

学校不適応や不登校の未然防止や早期発見・早期対応に組織的に取り組み、町と各校の方針を踏まえたいじめ防止の取り組みを推進します。福祉担当課やスクールソーシャルワーカー等との連携、必要に応じて病院や関係機関と連携しながら、学校復帰を支援していきます。

(3) 健やかな体を育む教育

町学校保健会や町学校給食センターと協力した健康と食育に関する学習や、運動の習慣化に

より子どもの育成に努めます。

(4) 特別支援教育の充実

新たに二戸市に開校する「北星支援学校」をはじめ関係機関と連携し、より望ましい就学の在り方や適切な教育支援に取り組みます。各学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じたきめ細やかな指導に努めます。さらに、児童生徒を取り巻く環境の整備に向けて、次の3点について取り組みます。

① 学校部活動の地域展開

学校部活動の地域展開に必要な仕組みづくり、子どもや保護者に魅力あるものなど、持続可能な活動に向けた調査研究を進めます。

② 軽米高校魅力化支援

習熟度別学習やコース別学習を支えるため学習支援事業を継続し、学習用IT機器購入の助成を新設します。副食給食費の助成拡充、路線バス・タクシード補助のほか、「中高一貫教育協議会」に新たに専門部会をつくり、志願者の確保を支援します。

③ 教職員の働き方改革

健康で働きがいのある職場づ

3 生涯スポーツの振興

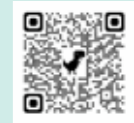
町民誰もが生涯にわたるスポーツに親しみ、心身ともに健康な生活を営むことができるよう、スポーツ活動の活性化とスポーツ施設の利用促進に努めます。芝桜スポーツフェスティバルやかるまいスポーツフェスタなど、各種団体が主催するスポーツ活動を支援し、町スポーツ協会など各団体の活動強化、競技力の向上と拡大を図ります。各施設の環境整備も計画的に進めます。

4 個性ある文化の創造

町民の芸術文化活動の成果発表の機会として、町民文化祭、郷土芸能発表会などを各団体とともに開催します。郷土芸能は貴重な文化遺産として後継者の確保・保存、(有形・無形)文化財等の調査・記録と保存に取り組み、公開に努めます。

岩手県中総体で優勝した軽米中学校女子バレーボール部

町民意識調査 結果公表



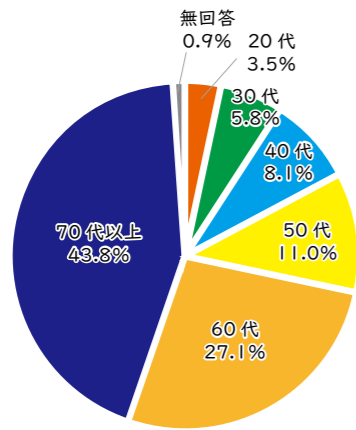
調査結果の詳細は町ホームページからご確認ください。

— ご協力ありがとうございました —

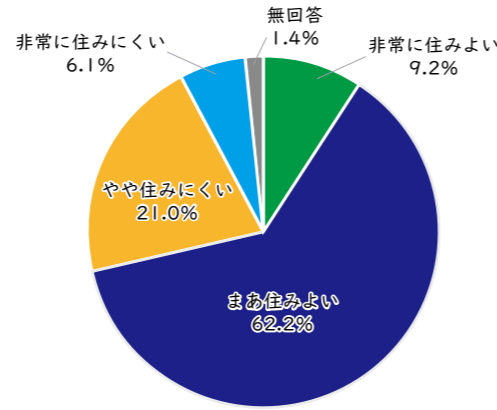
町民意識調査は毎年、町の将来像や行政施策の基礎資料を得ることを目的に実施しています。令和8年2月1日を基準日として、町民意識調査を実施しました。調査は無作為に選出した町民450人のうち347人（77.11%）から回答いただきました。調査結果の概要をお知らせします。

※小数点第二位以下は四捨五入

【問い合わせ】
政策推進課政策企画担当（☎46-2115）



回答した人の年代別状況

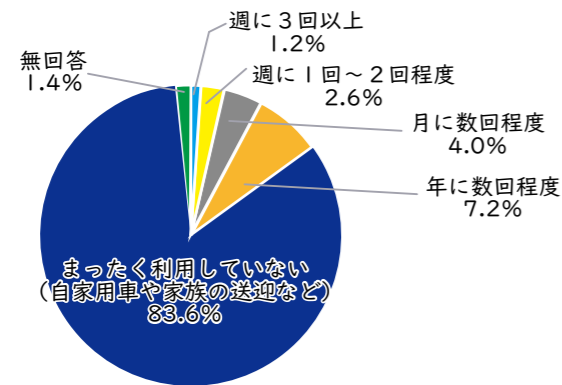


町の住みよさ

公共交通

※「週に3回以上」から「年に数回程度」と回答した人

Question
あなたは現在、公共交通（路線バス、町民バス、コミュニティバス等）をどの程度利用していますか？



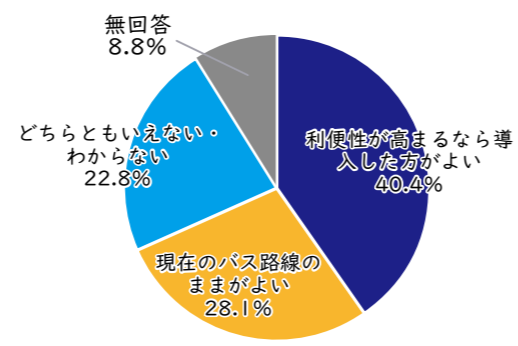
Question
公共交通を利用する際、不便に感じていることは何ですか？（複数選択）

運行時間が合わない	28.9%
特に不便に感じていない	13.3%
バス停が遠い	11.1%
運行日が少ない	10.0%
車両の乗り降りが大変（段差など）	10.0%
乗り継ぎがスムーズでない	8.9%
運賃が高い	7.8%
その他	2.2%
無回答	7.8%

Question
将来にわたり公共交通を維持するために、どのような考え方を優先すべきだと思いますか？（2つ以内選択）

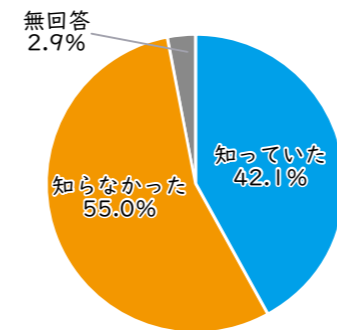
必要な人がタクシー等を利用しやすくなるよう「個別の移動支援（補助）」を検討する	29.7%
決まったルートを守るバスにこだわらず、予約に応じて運行する乗合バスや乗合タクシーの導入により効率化を図る	28.7%
多少の不便や財政的な負担があっても、現在のバス路線や停留所を維持する	18.1%
利用者が多い場所や時間帯に絞って運行を充実させる	11.6%
行政に頼るのではなく、住民同士の支え合いによる送迎などの仕組みづくりを進める	3.4%
その他	2.1%
無回答	6.5%

Question
現在のバスのように、決まった時刻・ルートで走るのではなく、予約に応じてあらかじめ設定された乗降場所（バス停や施設など）を結ぶ「乗合バスや乗合タクシー（デマンド交通）」の導入についてどう思いますか？

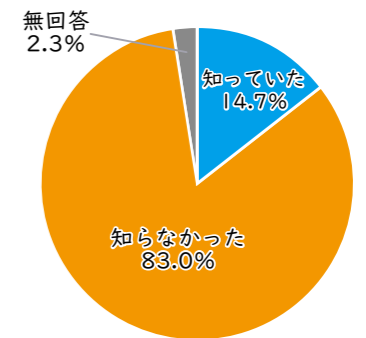


再生可能エネルギー

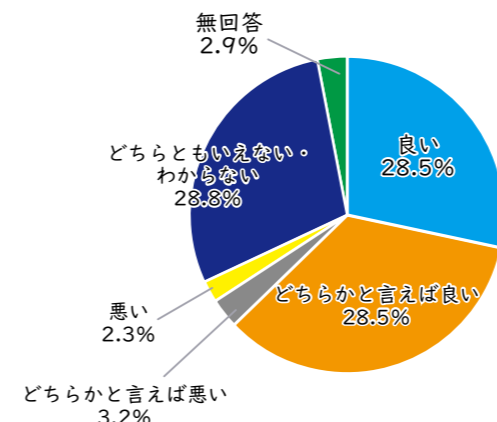
Question
国が2050年までに『カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）』を実現するため、再生可能エネルギーの導入を推進していることを知っていますか？



Question
町では、2024年に「軽米町地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」を策定し、二酸化炭素の排出量について2013年度を基準に、2030年度に77%削減、2040年度には90%削減を目標として掲げていることを知っていますか？



Question
再生可能エネルギーという言葉を目にした時に、あなたはどのようなイメージを持っていますか？



Question
町では地球温暖化対策や脱炭素の取り組みを進めていますが、今後、再生可能エネルギーについて、どんな情報が欲しいと思いますか？（複数選択）

町民にとってのメリットとデメリット	35.5%
電気料金が比較できる情報	21.9%
再エネ導入の補助金制度などの情報	15.5%
町内の再エネ関連事業の動向	8.7%
再エネ導入の費用対効果	8.6%
電気自動車の充電設備の情報	2.8%
その他	2.6%
無回答	4.4%

令和8年度 役場新体制組織図

町長 山本賢一
副町長 江刺家雅弘 教育長 久保智克

総務課

主な業務
財政、人事、給与、法規例規、情報公開、選挙事務、行政区長、消防、防災、地域情報化、栄典表彰など

課長 野中孝博

総務担当係長 地域防災担当係長
竹林 亜里 大村 亮憲

主任 主任 主事（併任）
笹山 泰嵩 下谷地 さくら 山田 のぞみ

主事 主事 用務員
日山 雪菜 福田 丈幸 田中 裕子

<派遣>
二戸地区広域行政事務組合 岩手県後期高齢者医療広域連合
大川 訓寿 明岡 寿

政策推進課

主な業務
総合計画、企業誘致、公聴広報、統計、秘書、移住定住、空き家バンク、公共交通、ふるさと納税など

課長 鶴飼 義信

副主幹兼移住交流担当係長 政策企画担当係長
山下 善昭 菅原 里枝

副主幹（再） 主査 主事
福島 貴浩 工藤 美紀子 古里 結美

主事 主事 運転手
小林 奈歩 小田島 碧海 工藤 剛

産業振興課

主な業務
農業の担い手、農地利用、畜産、鳥獣保護・被害対策、ホップ、飼料米、観光イベント、中小企業支援、地場産業支援など

課長 神久保 恵蔵

農林振興担当係長 商工観光担当係長
山下 博之 加藤 美紀

主任 主任 主事
小林 誠 小笠原 信也 川崎 彩香

主事 主事 主事補
門前 拓希 若山 元気 岡堀 渚

主事補 主事補
馬場 涼太 ★小林 煌太

税務会計課

主な業務
町・県民税、軽自動車税、固定資産税、課税証明書、確定申告、納税相談、滞納整理、県証紙販売など

課長 輪達 ひろか

副主幹兼課税担当係長 副主幹兼収納・会計担当係長
日山 一則 川島 幸徳

主査 主任 主事
福田 伸一 小野寺 悟 圃田 菜穂実

主事 主事
永井 重徳 長谷川 安実

町民生活課

主な業務
戸籍、住民票、マイナンバー、パスポート、ごみ回収、交通安全、国民年金、医療保険、医療費、犬の予防注射など

課長 鶴飼 靖紀

副主幹兼総合窓口担当係長 副主幹兼町民生活担当係長（再）
紫葉 千賀子 松山 篤

主任 主事 主事
鶴飼 有賀 久保田 史葉 紫葉 敬太

主事 主事 主事
松坂 俊也 蛇口 彩菜 皆川 椋太

議会事務局

主な業務
町議会、議事録、議会報など

事務局長 関向 孝行

主任 主事補
★野中 美希 向屋 敷 母

監査委員事務局

主な業務
監査

事務局長（併任）関向 孝行

議会事務局職員が併任

選挙管理委員会事務局

主な業務
選挙事務

事務局長（併任）野中 孝博

書記
山田 のぞみ 総務課職員が併任

農業委員会事務局

主な業務
農業委員会、農業者年金、農業新聞

事務局長（併任）神久保 恵蔵

係長（併任）
山下 博之 農林振興担当職員が併任

健康福祉課

主な業務
高齢者福祉、生活保護、保育園運営、障がい者支援、介護保険、虐待対応、検診、母子手帳、健康相談など

課長 竹澤 泰司

主幹
於本 博之

主幹兼健康づくり担当係長 副主幹兼福祉担当係長
日向 安子 寺地 亜紀子

上席主任看護師 上席主任社会福祉主事
下谷地 由美子 山田 里美

主任保健師 主任（再） 主任社会福祉士
小林 真由美 角田 貴浩 田代 沙織

主任保健師 主任保健師 保健師
古舘 里美 八幡 美紀 瀧澤 里奈

主事 主事 栄養士
佐々木 莉紗 小林 蓮 田中 春那

栄養士 保健師
塩田 嘉音 田口 麗奈

花のまち軽米こども園

園長 下斗米 敏

主任保育士 主任保育士 主任保育士
増尾 祐子 高田 牧子 金田 奈々

主任保育士（再） 主任保育士 主任保育士
中村 由季 安藤 美由紀 藤田 由貴子

保育士 保育士 保育士 調理師（再）
於本 寿衣 田中 里実 日山 侑香 新井田 直子

小軽米保育園

園長 小笠原 隆人

園長代理 保育士
檀澤 順子 平船 葵子

保育士 保育士
金山 晃司 毛塚 里瑚

保育士
宮川 愛美

晴山保育園

園長 古舘 寿徳

園長代理 主任保育士
山仁 江利子 夏堀 唯

保育士 保育士
及川 あずさ 皆川 佳穂莉

保育士
小林 茉莉

退職
（3月31日付）

主任
玉館 透

地域整備課

主な業務
町道管理、農林道管理、河川管理、ダム管理、町営住宅、公園管理・整備、除雪、下水道施設の管理、下水道料金など

課長 輪達 隆志

副主幹兼環境整備担当係長兼上下水道担当係長
紫葉 優樹

主任 主任 主任（再）
玉館 博一 小林 大軌 橋本 邦子

主事 技師 技師
中里 徹也 杉澤 航也 百鳥 仁

運転手
江刺家 祥平

水道事業所

主な業務
水道施設管理、断水時対応、水道料金

所長（併任）輪達 隆志

地域整備課職員が併任

教育委員会事務局

主な業務
学校教育、スクールバス、学校給食、育英奨学金、社会教育、文化財、図書館、体育館・運動場、宇漢米館管理など

教育次長 寺地 隆之

副主幹兼教育総務担当係長 副主幹兼生涯学習担当係長
藤田 直行 小野寺 繭子

指導主事 副主幹（再） 主任
稲垣 道子 梅木 勝彦 川原 愛実

主任 主事 主事
工藤 正弥 関向 幹也 山下 海斗

主事補 主事補 運転手
高橋 宥太 高橋 清楓 苅敷山 佳樹

新採用職員



小林 煌太（18歳・河北）

私は高校生活で、自分から行動することの大切さを学びました。この経験を生かし、自ら考え主体的に行動できる職員を目指します。また、町民の皆さんに寄り添った対応を心がけ、日々の業務に誠実に取り組んでいきます。



野中 美希（38歳・上戸子）

前職でも町内の方にお世話になることが多くあり、ここ1、2年のうちに電話口の声や顔でお名前ピンとくる方も増えたように感じています。今までのご縁を大事にしながら、職務に励みたいと思います。よろしくお祈りします。

産業振興課から 令和8年度町のイベント情報



イベント名	日にち	内容
森と水とチューリップフェスティバル ▶雪谷川ダムフォリストパーク・軽米	5/3 (日・祝)	ステージイベント (オープニングセレモニー)
	5/4 (月・祝)	林業振興まつり・アトラクション等
森林ウオーキング in 折爪岳 ▶折爪岳・ミレットパーク周辺	6/21 (日)	折爪岳からミレットパークまで登山道を下山しながら大自然を散策体験
かるまい夏祭り ▶町中心部 (大町・仲町・荒町)	7/25 (土)	商店会イベント (大町、仲町、荒町) 花火大会・青年部フリーマーケット
	7/26 (日)	ナニヤドヤラ流し踊り
軽米秋まつり ▶町中心部 (かるまい文化交流センター～お飯屋)	9/19 (土)	神輿渡御・山車運行
	9/20 (日)	消防演習・軽米音頭流し踊り
	9/21 (月・祝)	神輿還御・山車運行
食フェスタ in かるまい ▶かるまい文化交流センター	10/25 (日)	軽米町の地域産業を支える団体、事業者などが一同に会する食の祭典です！ 全国さるなし・こくわ連絡協議会員のさるなし商品が軽米に大集合！ 食欲の秋にぴったりのイベントです。
かるまい冬灯りイルミネーション点灯式 ▶軽米町防災センター周辺	11/22 (日)	町を暖かな彩で照らすように、イルミネーションを点灯します！ 寒い軽米町のあったかいイベントです♡ 点灯式から翌年1月中旬まで点灯予定です。
観光と物産キャンペーン ▶八戸市内	令和9年 2/20 (土)	軽米町産の新鮮野菜や特産品を町外量販店で販売します！ 販売の他、豪華賞品が当たる抽選会も行います。
	2/21 (日)	



今年も約15万本のチューリップが皆さんをお迎えします！
チューリップフェスティバル期間中は、飲食店の開設や特産品の販売、Instagramフォトコンテストが行われます。ステージイベントや林業振興まつりも開催されますので、お誘いあわせのうえご来場ください。

フェスティバル開催期間▶4月25日～5月10日
チューリップ園の入園料▶大 人400円 (軽米町在住の人300円)
子ども200円 (軽米町在住の人150円)
※町内在住の人は住所が分かるものをご持参ください。



軽米町観光協会はこちら

【問い合わせ】
産業振興課 商工観光担当 (☎46-4746)

女性検診を受けましょう



今年度も子宮頸がん検診、乳がん検診、骨粗しょう症予防検診を実施します。
自身の健康のため、定期的に受診しましょう。

◆対象者と検診費用

がん検診は自己負担が1,000円になるよう、町で補助しています！

	奇数年齢	検診費用
子宮頸がん検診 (年度末21～79歳)	案内を送付	5,500円 → 1,000円 (年度末21歳の人は無料)
乳がん検診 (年度末41～79歳)	案内を送付	5,000円 → 1,000円 (年度末41歳の人は無料)

年度末は令和8年度末

検診料金について

満70歳以上の人、65歳以上70歳未満の人で後期高齢者医療制度に該当している人、生活保護世帯の人は無料で受診できます。

※偶数年齢または80歳以上で検診を希望する人は、健康ふれあいセンターに申し込みください。

	検診費用
骨粗しょう症 予防検診	500円
上記以外の方は健康ふれあいセンターに申し込み	1,980円

※70歳以上(71歳を除く)でも全額自己負担となります。

◆持ち物

○検診票 ※必要事項を記入したもの ○無料クーポン (対象者のみ) または受診費用

◆日程

日にち	受付時間	会場
5月8日 (金)	9:30～11:00	小軽米生活改善センター
	13:30～15:00	山内地区交流センター
5月9日 (土)	9:00～11:00	農村環境改善センター ※骨粗しょう症予防検診
	13:00～14:30	
5月10日 (日)	9:00～11:00	農村環境改善センター ※骨粗しょう症予防検診
5月11日 (月)	9:30～11:00	農村環境改善センター

※骨粗しょう症予防検診は **土日のみ (5/9,10)** に実施します。

【問い合わせ】
健康福祉課健康づくり担当 (健康ふれあいセンター内 ☎46-4111)

瀧澤さんに旭日単光章

高齢者叙勲（旭日単光章）の伝達式が3月23日に軽米町役場で行われ、山本賢一町長から瀧澤英敬さんへ叙勲が伝達されました。

瀧澤さんは、平成3年5月に軽米町議会議員に初当選して以来、平成19年4月までの通算16年にわたり在職。地方自治の発展と町民福祉の向上に尽力されました。永年にわたる功績が高く評価され、このたびの受章となりました。



瀧澤英敬さん(上谷地渡)

祝 100歳 おめでとうございます

長寿祝い金贈呈式が行われ、中里貞造さん（元屋町）、工藤スエさん（岩崎）、浅水千ヤさん（上円子）が100歳の誕生日を迎えました。山本賢一町長から長寿祝金とお祝いの品が手渡され、会場は祝福の拍手に包まれました。



元気に100歳を迎えた中里さん

中里さんは、「ここまで生きてこられてよかった」と笑顔で話し、若い頃は岐阜県で飛行機製作に携わるなど、戦中・戦後を生き抜いてきた経験を振り返りました。「好きな食べ物は刺身と牛肉」と語り、今もよく食べることが元気の秘訣です。



お祝いを受け取る工藤さん

工藤さんは、料理が得意で、子供たちのおやつや農作業の合間の食事を手作りしてきました。家族からは「働き者で家族思い。山菜やきのこ採りを楽しみ、いつも元気に歩いていた」と感謝の声が寄せられました。



101歳を目指して元気に過ごしたいと話す浅水さん

浅水さんは、「こんなに長生きするとは思わなかった。何でもおいしく食べられて幸せ」と話し、「周りの支えに感謝しながら、101歳を目指したい」と笑顔を見せました。

困ったら一人で悩まず

行政相談をご利用ください



行政相談ってなに？

行政相談委員が行政（国、県、市町村）や独立行政法人などの仕事・手続き、サービスなどについて要望や困っていることなどをお聞きし、その解決の促進を図る制度です。相談は無料で、相談内容ははじめ、個人の情報や秘密は固く守られます。

行政相談委員は何をする人？

行政相談委員は、総務大臣から委嘱され、地域住民の身近な相談役として相談を受付、相談者への助言や関係行政機関等に対する改善の申し入れなどを行っています。



町の行政相談員
山田 元 さん

令和8年度相談日程

- | | |
|---------------|-------------------|
| ①令和8年5月12日（火） | 時間
10:00～12:00 |
| ② 7月12日（日） | |
| ③ 11月12日（木） | |
| ④令和9年1月22日（金） | |

相談場所 かるまい文化交流センター宇漢米館
1階相談室

暮らしに役立つ1冊

「軽米町暮らしの便利帳」 を発行します！

町では町民のみなさんの暮らしに役立つ情報を1冊にまとめた生活ガイドブック「軽米町暮らしの便利帳」を株式会社サイネックスと官民協働事業として制作しました。役場での各種手続きや施設案内などをわかりやすく掲載しています。4月下旬ころに全戸配布しますので、身近な生活ガイドブックとしてぜひご活用ください。



電子版の暮らしの便利帳は、軽米町のホームページから！

【問い合わせ】
政策推進課政策企画担当 ☎46-2115

消防活動の尽力に表彰

令和7年度岩手県消防表彰式が3月19日、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）で開催され、町消防団員など26人、軽米町消防団が表彰を受けました。受賞後、山野下信夫団長をはじめ本部員や受賞者が町役場を訪れ、山本町長に受賞を報告しました。受賞者は下記のとおりです（敬称略）。

受賞名	所属・階級	氏名
消防庁長官表彰（永年勤続功労章） 日本消防協会定例表彰（勤続章）	本部付分団長	紫葉 高浩
消防庁長官表彰（永年勤続功労章） 岩手県消防協会会長表彰（功労章）	本部付分団長	井戸畑 昭博
日本消防協会定例表彰（優良消防団竿頭級）		軽米町消防団
日本消防協会定例表彰（功績章）	副団長	福田 喜代志
日本消防協会定例表彰（精績章）	本部付分団長	鶴飼 治彦
日本消防協会定例表彰（勤続章）		
	第7分団分団長	田端 守
	第4分団副分団長	宮川 豊
	第4分団第1部部长	小林 夏樹
	第5分団部長	蛇口 久夫
	第7分団第2部班長	笹山 秀樹
	第1分団第4部団員	荒川 定美
	第3分団第1部団員	神久保 恵蔵



山本町長（前列右から3番目）に受賞を報告する小野寺前団長（前列左から3番目）、大下軽米分署長（同2番目）、山野下団長（前列右から2番目）と受賞者の皆さん

第3分団第2部団員	福田 隆
第6分団第2部団員	山崎 雄一
第6分団第3部団員	奥 博和
第8分団第3部団員	笹山 由勝
岩手県知事表彰（功績章）	
第3分団副分団長	平内 宏幸
第2分団第4部部长	玉館 聡
第4分団第3部部长	蛇口 弘嗣
第6分団第1部部长	高柳 正和
第7分団部長	佐々木 和寿
第8分団部長	山野下 利樹
岩手県消防協会会長表彰（功績章）	
第5分団分団長	松田 俊男
第8分団分団長	小平 藤雄
岩手県消防協会会長表彰（役員功労章）	
前軽米町消防団長	小野寺 祐治
岩手県消防協会会長表彰（内助功労章）	
	福田 奈津子
	山野下 雅美

広域消防連携がスタート

久慈広域連合と二戸地区広域行政事務組合は3月16日に消防相互応援協定を締結しました。4月1日から岩手消防指令センターの運用が始まり、119番通報の一元化や直近指令が可能となります。管轄に関わらず迅速な出動と連携を強化し、住民サービスの向上と安全・安心の確保を図ります。



今後の連携強化を誓う関係者

軽米分署に新しい救急車が配備されました



一般社団法人日本損害保険協会から寄贈 軽米町消防団第3分団第3部に3月25日から「小型動力ポンプ付軽消防自動車（デッキバンタイプ）」が配備され、地域の消防活動等、多岐にわたり活用されます。



第49回岩手県消防職員意見発表会

優秀賞初受賞



第49回岩手県消防職員意見発表会が2月16日にアイトホテル盛岡で開催され、二戸消防署軽米分署の田代晃一さん（新井田）が二戸地区広域行政事務組合消防本部を代表し出場。「明るい未来への查察」と題して発表し、優秀賞に輝きました。二戸地区では初の優秀賞受賞となります。

田代さんは受賞について「最優秀賞には届かなかったが、頑張った結果が形になり嬉しい」と振り返ります。受賞後に初めて地区初の快挙と知り、「さらに嬉しさが込み上がった」と笑顔を見せました。

発表では、火災を未然に防ぐ予防業務に着目。特に自宅での火災リスクに注目し、「大人への呼びかけだけでなく、子どもの力を借りることで意識が広がる」と提案しました。学校で配布するチェックシートを活用し、家庭内の危険箇所を子ども自身が見つけることで、家族や地域全体へと防火意識が広がる仕組みを描いています。

発表原稿の作成は昨年11月から始まり、職場の先輩や中学校時代の恩師の指導を受けながら完成度を高めました。本番では「伝えたい思いをしっかりと届けること」を意識し、会場全体を見渡しながら発表に臨みました。

「火災は誰にでも起こり得る。今一度、自宅の危険を見直してほしい」と町民へ呼びかける田代さん。今後は予防・救助分野の資格取得に挑戦しながら、「熱い気持ちを持ち続けていきたい」と力強く話しました。

甘 さと楽しさ満載の一日
Karumai Town Sweets Festa!2026

「軽米町Sweets Festa! 2026」が3月7日、宇漢米館で開催されました。プリンやカップアイス、大福、クレープなど、岩手県北地域を中心とした県内の菓子店など13店舗が出店。会場には町内外から約1200人が来場し、目当てのお菓子を求める人で行列ができるなど終日にぎわいを見せました。購入店舗数に応じて景品がもらえるシールラリーも行われ、来場者は楽しみながら買い物を満喫。ステージでは町ふるさと大使の神久保翔也しょうやさんが所属するアイドルユニット「甘党男子」によるダンスレッスンやミニライブが行われ、会場を盛り上げました。さらにカシオペアFMのステージでは出店者PRや食レポバトル、ラジオ体操など多彩な企画が繰り広げられ、甘い魅力あふれる一日となりました。



ダンスや歌声で観客を魅了する甘党男子



お目当てのスイーツを買い求める来場者

手 づくり味噌に挑戦
第3回味噌づくり教室

味噌づくり教室が3月14日に大黒醤油(株)で開かれ、町内外から約50組が参加しました。初参加者のほか、15回以上参加するリピーターの姿も見られました。参加者は麴や塩、大豆を計量し、丁寧に混ぜ合わせて仕込み作業を体験。出来上がった味噌は自宅で熟成させ、10月頃から味わえるとのことでした。



分量を確認しながら麴を袋に入れました

日 常にある大切なつながり
地域のお宝発表会を開催

地域のお宝発表会が3月4日、宇漢米館で開催されました。「しゃきっとクラブ」や「上円子ふれあい共食」「ゆったり介護の会」「トコトコかるまい広場」が日頃の活動を発表。本発表会は地域の支え合いをテーマとし、日常の中にある人とのつながりや助け合いの大切さを見つめる機会となりました。



各団体が日頃の活動を発表しました

感 謝を胸に巣立ちの時
軽米中学校卒業式

町内の各学校と保育施設で3月1日から24日にかけて、卒業式、卒園式が行われました。3月9日には軽米中学校の卒業式が行われ、61名が学び舎を巣立ちました。卒業記念として卒業生からは学校へ車いすが贈られました。式では生徒会長を務めた米田旭宏あきひろさんが、卒業生を代表して答辞を述べ、「文化祭などで仲間と一つの目標に向かって挑戦し、やり遂げた経験は大きな自信と絆になりました。支えてくれた先生方や家族への感謝を忘れず、それぞれの道を歩んでいきたい」と3年間を振り返り、先生や家族への感謝を伝えました。卒業生は合唱曲「正解」を心を込めて歌い上げ、会場は感動に包まれました。それぞれの未来へ向かう門出の日となりました。



米田さんの思いのこもった答辞



卒業生の歌声が会場に響きました

ア ルコール依存を正しく知る
こころの健康づくり講演会

こころの健康づくり講演会が3月13日に健康ふれあいセンターで行われました。岩手県精神保健福祉センター顧問の小井田潤一じゅんいち先生が「アルコール・薬物依存について」と題して講演し、依存症の特徴や健康への影響などを説明。適量飲酒の大切さや、一人で抱え込まず相談につなげることの重要性を呼びかけました。



依存症の特徴や影響について講演する小井田先生

軽 米から自衛隊へ羽ばたく
軽米町自衛隊入隊予定者激励会

令和7年度軽米町自衛隊入隊予定者激励会が2月20日、町役場で開催されました。今春入隊する松本優生ゆうせいさん(軽米高校卒)を前に、山本町長ら関係者が激励の言葉を送り、門出を力強く後押ししました。松本さんは新たな一歩への決意を胸に、地域の期待を背負って自衛隊の道へ進みます。



入隊を前に激励を受けた松本さん(右から2番目)

学校の様子はこちらからもご覧いただけます



軽高だより

軽米高校卒業式～36名の新たな旅立ち～



卒業生36人が新たな一歩を踏み出します



高橋校長から卒業証書を受け取りました

3月1日、軽米高校にて卒業式が盛大に挙行されました。今年の卒業生は36名で、3年間軽米高校で勉強や部活動、課外活動等に励んだ生徒たちは立派に卒業の日を迎えました。高橋直樹校長の式辞では「これから失敗や挫折があった時に皆さんの真価が問われ、校訓である『明るく、強く、逞しく』を思い出してそれに立ち向かってほしい」と話がありました。また、本校の教育振興会会長である山本賢一町長からは

「大きな壁に当たった時には軽米高校での経験と友人を思い出して困難に立ち向かう勇気を持ってほしい」とお言葉をいただきました。

式終了後、最後のHRにて生徒は担任から卒業証書を受け取りました。担任・副担任からはなむけの言葉をいただき、その言葉を胸にそれぞれが新しい生活へと旅立ちました。



3年1組



3年2組



地域おこし協力隊通信

農業技術の習得と次へのステップ

地域おこし協力隊隊員 橋場 良夫

町内ホップ農家の指導のもと、春先の系付けから秋の摘果作業に至るまで、一連の作業工程を実践的に学ぶことができました。また、雑穀については、「次世代育成体験実践セミナー」を受講し、栽培技術を学ぶとともに、蕎麦についても各種研修に参加し、次年度以降の活動に向けた基礎作りを行いました。

8年度は、町内の農業法人で雑穀栽培の理解をさらに深めるとともに、研修で学んだ内容を借用農地で実践し、技術の定着を図りたいと思います。

加えて、農業経営における俯瞰的な視点を養うため、経営スキルを体系的に学ぶ農業セミナーを受講し、任期終了後の就農に備えたいです。



収穫作業を実践的に学びました



セミナーで雑穀ご飯づくりを体験



北海道音更町 姉妹町だより

児童らが図書館で一日司書体験

2月22日、図書館司書の仕事を理解することで図書館を身近に利用してもらうため「こども一日司書体験」が開催され、7人が参加しました。司書の仕事について説明を受けた後、返却された本を決められた本棚に戻す配架業務や本の貸し出しを受け付けるカウンター業務などに挑戦しました。多くの本を管理するため、決められたルールに従い働く司書の仕事を一生懸命体験していました。



本の貸し出し業務にチャレンジ

北海道音更町

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約43,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、1985年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝菜月さん。

軽米タクシー (株)

巡回バス乗務員急募！ (1名)

- 週休2日 (隔週休3日)
- 勤務地 軽米町

※待遇等についてはハローワークか当社までお問合せください。

TEL 46-2011
✉ karutaku@khaki.plala.or.jp

玉姫グループ

葬儀・法要専門会館
セレモニーホール

玉泉院

0120-494-109

その人生に感謝を。

葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。

- 二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600
- 久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061
- 軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109
- 福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440
- 九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

図書館だより

おすすめの本を紹介するコーナー

■増尾 若那 さんお気に入りの一冊



増尾 若那 さん
(軽米中学校3年)

羅生門・鼻

著者名/芥川龍之介 (新潮文庫)

この作品は短い物語ですが、人の心の弱さや周りの目を気にしてしまう心理が強く描かれています。主人公は自分の鼻のことで悩み続けていますが、その悩みが解決した後も周りの反応で気持ちが変わっていくところがとても印象的でした。特に、周りの人が笑っているのを見て不安な気持ちになる場面は、人の目を気にしてしまうという気持ちがよく伝わってきます。昔の作品ですが、今の自分たちにも通じる内容で、人の心の複雑さや弱さについて深く考えさせられました。短い物語の中に強いメッセージが込められていて、読み終わった後も心に残る作品だと思います。短時間で読めるので本が苦手な人にもおすすめです。ぜひ読んでみてください。



夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

本田 航裕 さん (晴山小学校6年)

僕の学校生活での目標

僕が6年生になって頑張りたいことは、2つあります。

1つ目は委員会活動です。僕は放送委員になったので、放送で学校を明るくしたいです。そのために気をつけたいことは、声のトーンとマイクとの距離です。また、リクエストソングやインタビューなどもやりたいです。リクエストソングでは、全校の意見を聞いて様々な音楽をかけ、皆に喜んでもらいたいです。

2つ目は勉強です。6年生の勉強では歴史が増えるので楽しみです。算数では「x」や「y」などの記号の使い方を覚えたいです。

6年生6人で大きな行事を協力して行い、皆でたくさんの思いを作りたいです。そして、小学校生活最後の1年を満喫したいです。



Unique poems

町文化協会 北光吟社 3月例会

花びらの小細工模様春隣
 牡丹雪おごそかに見ゆ古刹かな
 父親の寝顔安らか冬の暮
 銀盤の風となりけり璃来と龍
 スマホ手に春を探しつ庭歩き
 雪原に聖火は燃ゆる老いの春
 梅はもう三位と便りきて
 たゆたゆと波に揺られて若布刈船
 ふれあいに集ふ笑顔や暖かし
 「りくりゆう」感涙のメダル冬五輪
 高橋 美智子
 三上 千栄女
 君成田 美代子
 丹下 美恵子
 千葉 ふみ子
 川崎 郁子
 大清水 雪子
 長島 龍泉
 中野 とき子
 松村 英子

児童書



999ひきのきょうだいとカルガモちゃん

文/木村研
絵/村上康成 (ひさかたチャイルド)

池の周りをさんぽする999ひきのかえるたち。あれ、迷子のカルガモちゃんがあとをついてきちゃった！お母さんを見つめることができるかな？

一般書



咲良は上手に説明したい！

著/滝沢志郎 (PHP研究所)

取説や掲示物…わかりやすく、つい読ませるその技術が人知れず誰かの助けになる。テクニカルライターの知らない世界×奮闘と成長のお仕事小説。

4月のテーマ図書展

『さくら』

日本人は、なぜこんなにも桜が好きなのでしょう？厳しい冬の寒さにじっと耐えて春を待ち、花を咲かせたかと思えばぱっと散る。そんな潔さや、儚さが所以なのでしょう。今月は、桜の名所の写真集や物語などを用意しましたので、ご利用ください！



町立図書館からのお知らせ

インターネットでも蔵書を調べることができます。
(軽米町HP→施設ナビ→軽米町立図書館→公式サイト、または軽米町立図書館で検索) お試しください。

危険物取扱者試験を開催します

令和8年度危険物取扱者試験を行います。

○開催日程

回	試験地	試験日	受付期間
1	盛岡市・大船渡市・二戸市	6/27 (土)	5/12 (火) ~ 5/19 (火)
2	盛岡市・一関市・釜石市	7/4 (土)	
3	花巻市・奥州市・宮古市・久慈市	7/11 (土)	

※試験案内は消防試験研究センターホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>) に掲載しています。

申請は願書不要の電子申請が便利です。センターホームページからお申込みください。

※願書が必要な方は、当センター、各消防本部、消防署、消防分署等に常置しています。

申込みや詳しい内容は
こちらから⇒



【申込み・問い合わせ】

(一財) 消防試験研究センター岩手県支部
(☎ 019-654-7006)

自衛官を募集します



令和8年度の採用試験予定についてお知らせします。下記の他にも様々な採用種目があります。種目、受付時間、試験時期等の詳細については二次元バーコードからご確認いただくか、下記の連絡先へお問い合わせください。

○開催日程

種目	応募資格	種目説明
幹部候補生 (4/22 ~ 受付)	一般、歯科、薬剤科等があり、区分により条件が違います。細部は下記の二次元コードからご確認ください。	幹部自衛官としてそれぞれの分野で指揮官等として活躍します。

幹部候補生 (4/22 ~ 受付)	20歳以上33歳未満の方	教育期間含む約5年の部隊勤務を経て幹部自衛官に任官します。
一般曹候補生 (受付中)	18歳以上33歳未満の方	部隊の骨幹となる各分野のプロフェッショナルを目指します。
任期制自衛官 (受付中)		任期制隊員として2年または3年を1任期として勤務します。

【問い合わせ】

自衛隊岩手地方協力本部 二戸地域事務所
(☎ 0195-23-2529)
町民生活課 (☎ 46-4734)

みんなの国民年金

国民年金保険料は納期限までに納めましょう

令和8年4月分から令和9年3月分までの国民年金保険料は、月額17,920円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、クレジットカードによる納付やインターネット等を利用しての納付、そして便利でお得な口座振替もあります。なお、現金で保険料を納付する方で前納を希望する場合は、役場または年金事務所にご相談ください。

納付期限は法令で「納付対象月の翌月末

日」と定められています。納期限までに保険料を納めないと障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合がありますので、忘れずにお納めください。

また、所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、保険料が免除・猶予される制度がありますので、お近くの年金事務所や役場の国民年金窓口へご相談ください。※納付義務者は被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者及び世帯主です。

【問い合わせ】

ねんきん加入者ダイヤル
(☎ 0570-003-004)
二戸年金事務所 (☎ 23-4111)
町民生活課 (☎ 46-4734)

軽米病院だより 「県立病院」の話

県立軽米病院 院長 葛西 敏史

皆さんが病院で支払うお金は「診療報酬」という名で、国から細かく決められています。厚生労働省の中医協で2年に1度改定されるのですが、2026年には診療報酬が3.09%引き上げられました。ここが引き上げられると、皆さんの支払う医療費は多少高くなります。しかし県立病院の赤字は昨年度1年間で約70億円でした。「県立だから補助金が入るんだろ」と思われる方もいると思いますが、職員の人件費や光熱費は上昇し、薬や材料費も高騰している昨今、補助金でやりくりしても赤字は埋めきれま

せん。私は院長会議で「いっそ皆の給与を引き下げたらどうか？」と提案しましたが却下されました。この現象は日本中のほぼ全ての病院で起きています。つまり県立病院経営がお粗末なのでは無く、仕組みそのものがおかしいのです。民間病院では実際倒産もしていますし、公立病院でも廃止や統合がニュースになっています。

軽米病院では県北・八戸の病院や介護施設と連携して患者さんを引き受ける努力をしています。今後20ある県立病院も統廃合がきっと進むと思いますが、なんとかこの地域に病院を残したいからです。応援よろしくお願いたします。

宮沢歯科医院

健康は『健口』から

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土
一般歯科	9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
口腔外科	14:00 ~ 18:00	●	●	●	休	●	●

※予約制・当日予約可 休診日 日曜・祝日 第1, 3土曜日

宮沢歯科医院 軽米町 検索 九戸郡軽米町軽米8-105 ☎0195-46-2953

中小企業の繁栄と発展をサポートします

丸橋 弘

税理士事務所

税理士 丸橋 弘 (東北税理士会所属)

相続税・贈与税・所得税・法人税・消費税

丸橋弘税理士事務所 検索 TEL:0178-32-0170 八戸市売市一丁目12-5

日帰り白内障手術・小児眼科
医療法人 仁久

白山台くに眼科

理事長 日本眼科学会認定専門医 濱端 久仁子

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~11:30	●	●	/	手術 予約のみ	●	●
14:00~16:30	●	●	/	注射	●	/

休診日: 毎週水曜・第4土曜・日祝
TEL: 0178-51-9251

八戸インターより車で3分

手造り 味 彩

折詰・弁当・オードブル

(焼き鳥・唐揚げ) テイクアウト予約承ります
お気軽にお電話ください。

軽米町大字軽米11-127-4 ☎46-3680

戸籍の窓口

2月1日～2月28日 ※敬称略

お く や み

小笠原 弘 和 (93)	上 館
夏 井 清 志 (94)	下新町
永 井 博 行 (74)	上新町
田 中 信 行 (82)	蓮台野
中 里 リ ヤ (98)	蛇 口
寺 澤 鐵 男 (96)	向高家
小笠原 八千代 (98)	桜 山
平 内 ヒ サ (94)	上野場
奥 谷 フヂエ (98)	屋 敷

人 の 動 き

令和8年2月28日現在(カッコ内は前月比)

人 口	7,629人 (-10人)
男性	3,736人 (-2人)
女性	3,893人 (-8人)

世 帯 数	3,576世帯(+4世帯)
転入	8人
転出	9人
出生	0人
死亡	9人

交 通 事 故

2月末(カッコ内は1月からの累計)

人 身 事 故	0件 (0件)
死 亡 者	0人 (0人)
物 損 事 故	17件 (40件)

火 災 ・ 救 急

2月末(カッコ内は1月からの累計)

火 災	0件 (0件)
救 急	24件 (48件)

休日当番医

(二)…二戸市 (軽)…軽米町 (一)…一戸町

日	急患 (午前9時～午後5時)	電話	歯科 (午前9時～正午)	電話
4/19	ほそかわ小児科クリニック(二)	26-8100	小野寺歯科医院(一)	33-3050
4/26	小野寺内科医院(一)	33-2505	こしみず歯科クリニック(一)	33-4618
4/29	よこもり眼科クリニック(二)	22-2230	宮沢歯科医院(軽)	46-2953
5/3	千葉耳鼻咽喉科医院(二)	26-8133	菅原歯科医院(二)	27-3301
5/4	かわさきクリニック(二)	26-9900	國香歯科医院(二)※石切所	23-2764
5/5	いのへ駅前脳神経外科クリニック(二)	26-8815	岩淵歯科医院(一)	32-2238
5/6	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	ますだ歯科クリニック(二)	26-8282
5/10	松井内科医院(一)	33-2201	ぼっぱ歯科クリニック(一)	31-1182
5/17	菅クリニック(二)	23-7311	沢藤歯科医院(二)	25-4002

地域を支える「まちづくりリーダー」育成プログラムの受講生募集

岩手大学では、環境問題や地域防災活動の重要性を地域・学校・職場などへ伝え、そこでの活動を牽引するリーダーを育成するため、地域を支える「まちづくりリーダー」育成プログラムを開講します。

■開講期間：6月6日～11月14日
全17回 (土曜日開講)

【問い合わせ】

岩手大学工学部まちづくり
リーダー育成プログラム事務局
(☎019-621-6447)



詳しくはこちら

入会登録料を補助

i-サポで出会いを
見つけよう



結婚サポートセンター「i-サポ」は、県と市町村などが協力してパートナー探しをサポートしています。会員登録制による1対1の出会いの場を提供し、専任のスタッフが交際につながるまでをしっかりとフォローします。「i-サポ」で理想の相手を見つけませんか？

※町では入会登録料1万円を全額助成しています。

【問い合わせ】

健康福祉課福祉担当 (☎46-4736)

災害ダイヤルサービスをご利用ください

119番は、皆様からの緊急通報を受け付ける重要な回線です。緊急性のないお問い合わせでの119番利用はお控えください。災害に関するお問い合わせは、災害ダイヤルサービスをご利用ください。

※令和8年3月26日より災害ダイヤルサービスの電話番号が変更となりました。

新番号 ☎050-5530-5818

【問い合わせ】

二戸消防本部消防課 通信指令係
(☎26-8112)

写真募集中

軽米町内の景色や風景、町内に住むお子さんの写真を募集しています。採用された方には図書カードをプレゼント！ご応募お待ちしております！



あ と が き



広報4月号をお読みいただきありがとうございます。広報担当2年目に入り、また新たな気持ちで取材に向かっています！3月には町内で林野火災が発生し、自然の怖さを実感しました。これから暖かくなり、屋外で過ごす機会も増えてきます。ちょっとした油断が大きな被害につながることもありますので、一人一人が意識していくことが大切です。(Kai Odashima)

広告募集

問い合わせ seisaku@town.karumai.iwate.jp

1号広告 (本枠)

- 白黒 4,000円
- カラー 6,000円

2号広告 (横幅が本枠の倍)

- 白黒 8,000円
- カラー 12,000円

※半年以上の連続掲載で割引あり。

当院にご相談ください

喘息・長引く咳・長年のタバコで息苦しい
高血圧・糖尿病・高脂血症・睡眠時無呼吸

八戸函南小学校向い (登り街道340号線 八戸市内入ってすぐ)

はやし呼吸器・総合内科クリニック
電話 0178-20-7723

ピアノ・エレクトーン
はじめませんか？



♪おおしみず音楽教室♪

講師 大清水美紀子 09090365436

春の生徒募集中



軽米町下新町

無料体験教室実施中

兄弟で支えあい

全国へ



写真提供：(c)allsports.jp



軽米中学校3年

大村悠悟

O M U R A Y U G O

軽米小学校6年

大村啓悟

O M U R A K E I G O



大村悠悟さん（軽米中3年）と啓悟さん（軽米小6年）の兄弟は、ともにスノーボード競技に打ち込み、全国大会の舞台に挑戦している。兄の悠悟さんは2月27日から3月1日まで群馬県で開かれた「第33回全日本スノーボードテクニカル選手権大会」に出場。弟の啓悟さんも3月5日から10日まで福島県で行われた「第44回JSDA全日本スノーボード選手権大会」に出場した。

もともとスキーをしていた悠悟さんは、「板が細くて怖かった」と話すが、父に見せてもらったスノーボードの映像にひかれ、小学校低学年の頃から挑戦。啓悟さんも兄の姿を見て始めたという。最初は2人とも滑ることに怖さもあり、ゲレンデに行きたくない時期もあったが、上達するにつれ楽しさが増していった。

悠悟さんが挑んだテクニカル選手権は、ターンの美しさや技術を競う大会。動画で自分の滑りを確認し、改善を重ねてきた。「全国はやっぱりレベルが高かった。雪質も違って難しかった」と振り返る。一方、啓悟さんが挑戦した大会は旗の間を滑り抜けるスピード勝負。初めての大会に「緊張した」と話しつつ、スタートの感触には手応えを感じたようだ。

日頃の練習では父のサポートも大きく、動画撮影や道具の準備、ワックスがけなど家族の支えが欠かせない。「自分のためにいろいろ準備してくれている」と感謝を語る。今後の目標は、2人そろって「全国で一桁順位に入る」と。兄弟の挑戦は、さらなる飛躍を目指し、今後も続いていく。



軽米町のホームページ・SNSはこちらから！
フォローや友達登録よろしくお願ひします。

